



令和6・7年度 港区教育委員会研究奨励園

中之町幼稚園だより

令和7年12月号

港区立中之町幼稚園

園長 酒井 正美

きれいに色付いた葉が園庭に舞い、子供たちと楽しく遊びます。早いもので12月、2学期を締めくくり、年末へと向かう月となりました。

中之町幼稚園では11月14日に、「港区教育委員会研究奨励園」「東京都体育健康教育推進校」として、「意欲的に遊ぶ幼児を育てる」～豊かな遊びがあふれる園庭環境の工夫と援助～を研究主題に研究発表会を行いました。港区立幼稚園、小・中学校の教員、区内の保育園保育士の他、都内8区、3つの県からの参会をいただきました。

小・中学校の学習指導要領にあたる幼稚園教育要領では、「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」であること、「幼稚園では、幼児期にふさわしい生活を展開する中で、幼児の遊びや生活といった直接的・具体的な体験を通して、人と関わる力や思考力、感性や表現する力などを育み、人間として、社会と関わる人として生きていくための基礎を培うことが大切である」とあります。

中之町幼稚園は、新園舎の完成後、待ち望んでいた素晴らしい園庭が完成しました。しかし、子どもたちの充実した遊びを通じた学びが展開されるためには、出来上がったばかりの園庭の環境の工夫と教師の援助が必要でした。

- 中之町幼稚園では
- 関わりたくなる自然環境の工夫
 - 使いたくなる場や物の工夫
 - 遊びの伝承・人と人をつなぐ工夫

この3つの手立てをもち、環境と援助の工夫を行ってきました。また、小学校以降の学びにつながる資質・能力「知識及び技能の基礎」「思考力・判断力・表現力の基礎」「子どもたちが伸び学びに向かう力、人間性等」から振り返り、豊かな遊びが展開される園庭環境と教師の援助につなげてきました。

文部科学省視学官 横山真貴子先生、元聖徳大学大学院教授 篠原孝子先生、中田和直 赤坂学園校長、小久保篤子 港区幼児教育担当専門官、中之町幼稚園園長の5名でシンポジウムを行い、「環境を通じた学び」「主体的な学び」について議論を深め、幼稚園で行っている「環境を通じた主体的な学び」は、小学校以降の学びにおいても重要な視点であることが話し合われました。

保護者の皆様には、アンケート等へのご協力をいただき感謝申し上げます。今回の学びを土台に、今後の教育活動をより一層充実させてまいります。

園内に研究に関わる写真等の掲示、ホームページには研究紀要を掲載しています。どうぞご覧ください。

寒さに向かうこの時期ですが、季節の変化を感じながら戸外で元気に体を動かして遊んでいきたいと思えます。